

## 令和３年度第１回佐倉市景観審議会 議事録

日 時	令和３年８月６日（金）午前１０時～正午１２時
場 所	佐倉市役所 議会棟１階 全員協議会室（オンライン併用）
出席者	木下 剛会長、中島 伸副会長（オンライン参加）、内田 儀久委員、 田邊 学委員（オンライン参加）、永村 景子委員（オンライン参加）、 林 洋太郎委員、森田 敬介委員
事務局	都市部長 川島 千秋、都市計画課長 菅澤 雄一郎 青山 修副主幹、林田 洋子主査、橋本 和喜主査 知久 貴洋主事
会議次第	１．開会 ２．議事 「わたしが見つけた佐倉の景観」について その他報告事項について ３．閉会
配布資料	資料１ 佐倉の景観 周知・啓発について 資料２ わたしが見つけた佐倉の景観 募集要領 資料３ 景観写真募集のテーマについて 資料４ わたしが見つけた佐倉の景観（公募から公表までの流れ） 資料５ わたしが見つけた佐倉の景観（チラシ・ポスター） 佐倉市景観審議会委員名簿
傍聴人	２人

【議事録】

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>【議題説明】</p> <p>「わたしが見つけた佐倉の景観」について</p>
会 長	<p>事務局からまとめてご説明いただきましたが、まず、資料１について、何かご意見ご質問ありますでしょうか。</p>
森 田 委 員	<p>まず、全体の流れについてですが、前回決まったように景観写真展とまちづくり賞を隔年で行うことを続けようというのは理解していますが、もう少し根本的な話として、ここには、市民の関心を高める、周知する、機運を高める、魅力ある景観を伝えるといった目的が書いてあります。</p> <p>しかし、高めた結果どうなるのか、どうするのか、どんな効果を狙って高めているのかということをもっとはっきり謳った方がいいのではないかと思います。</p> <p>少なくとも我々が同じ認識を持っている必要があると思いました。</p> <p>そのためには、関心が高まっているのか、周知されているのか、機運が高まっているのか、こういったことを何らかの形で測定する必要があると考えます。</p> <p>事業なので、数値でビジュアル化しないとただやっているだけになってしまうかと思います。</p> <p>また、測定した結果が目標に繋がっていくと思われます。</p> <p>目標は行政でいうところの施策になるとと思いますが、他部署である、産業振興課と一緒に何か実施するとか、まちづくり活動をする民間への補助金をだすなど色々あると思いますが、そういった新しい事業を行う理由付けとして機運の高まりというのがあるのかと思います。</p> <p>なので、そういった事業へ向けて大義を考える必要があるのかと思います。</p>
会 長	<p>ただいまのご指摘は、施策の効果を明確に、客観的な基準に基づいて事業評価をしっかりとやるというのが一つ、それと意識を高める、周知するなどの目的が達成した時にどのような成果、目標が設定されているのかというのがもう一つで、大きく二つの意見がありました。</p> <p>これについて事務局から施策の効果やどのように評価されているかなど実績があればご紹介いただきたい。</p> <p>また、これは審議会全体で考えなければならない問題だと思いますので委員の皆様ご意見あればお願いいたします。</p>

事務局	<p>ただいまの森田委員の意見に対してまず、事業の効果についてですが、景観については数値などで何を何パーセント上げるというのを設定するのは難しい面がありますが、市の事業評価のなかで景観に対しての事業評価を数値で掲げているものがあります。</p> <p>それは何かというと、毎年市で実施している市民意識調査で、その中の設問で景観に関する項目があり、毎年度数値的な評価指標を設けております。</p> <p>今は手元に資料がないので、後日改めて委員の皆様には市民意識調査の結果をメール等でお知らせいたします。</p> <p>ただ、それについては直接景観写真展や、景観まちづくり賞などの事業が反映されているかという分析は難しいところではありますが、市ではそういったかたちで評価をさせていただいております。</p> <p>また、森田委員から景観行政に対しての補助というお話がありましたが、景観計画で、新町を景観形成重点区域に指定して、そのなかで、地元のかたを中心に新町地区景観形成協議会を設けて、毎年度打ち合わせをさせていただいております。</p> <p>ただ、新型コロナウイルスの影響があり、昨年度、今年度は実施できていない状況ではあるのですが、そのなかで新町の街並みにあった建物の修繕、意匠変更等を行った際には補助を出して街並みを揃えるという制度の投げかけをしているところです。</p> <p>なかなか制度化までは進んでいませんが、引き続き地元の方々と調整をしながらいい方向へ進むように話し合いをしたいと考えております。</p>
会長	<p>今の事務局からの話に対して意見がありましたらお願いいたします。</p>
森田委員	<p>先ほど補助といったのは例ですので、機運が高まったことが測定されることで、市が直接行うことや、民間に対しての後押しを行う際に大手を振ってできるように写真展や表彰が繋がっていけばいいということを申し上げたつもりでした。</p> <p>それと各論になってしまうのですが、新町については土地が売りに出されたことによって昔の街並みが壊れていったと思うので、ほとんど昔の建物は残っていません。</p> <p>さらに危惧されるのは空き地の売買が行われると、そこにただ住宅が建つという状態になるので、全て住宅で埋まったら打つ手はないというのが正直なところです。</p> <p>そういった状況で、機運を高めることの意義は少し強硬な手が打てるということだろうと私は思います。機運が高まってきたことが評価によって明らかになれば</p>

事務局	<p>ば、できるだけ住宅以外を支援するだとか、活性化につながるものを支援する施策につながっていければと思います。</p> <p>景観に限らず、新町の活性化につきましては、都市計画課の景観の事業だけではなく、教育委員会や産業振興部等と市の中で連携をしながら色々施策に取り組んでまいります。</p> <p>また、地域住民や民間のアイディア、知恵をいただきながら市としても施策に取り組んでいく考えではおりますので引き続きご協力いただければと思います。</p>
会長	<p>今の意見はとても貴重ですので、他の委員の皆様もご意見ありましたらいただけますでしょうか。</p>
中島委員	<p>森田委員の前半の意見につきましては非常に大事だと思います。</p> <p>特に、周知、啓発活動は中々成果が見えにくいのでどこで頑張っているのかということをしつかり結果を作って行かなければなりません。</p> <p>結果が見えないことによって、事業や、活動・取り組みが縮小していく恐れがあることは懸念しなければいけないところだと思います。</p> <p>ですので、今後の発展的な展開をどのようにするためにこれを位置付けていて、それをどこで測って、どこで結果としてだしていくのかということを見せるのはとても大事なポイントになるのかと思います。</p> <p>それには、評価がうまくできていないというだけでなく、無くなってしまう可能性があるという危機意識がないと、啓発活動というのは継続していくのは難しいのかと思います。</p> <p>そこで、例えば写真を募集するのであれば、この募集件数自体をどのようにすれば増やすことができるのか、それが増えてくることによって選べる数は変わらないかもしれないけれども、応募の量が増えてくるとか、そのために事業自体の周知をどうするのかというところを今年度さらに工夫ができるのかというような話にもつながってくると思いますし、また、そういったところを目標値として作るとかそういった方法もあり得ると思っています。</p> <p>あと、私が個人的に関わった景観計画や景観まちづくりの事業で、練馬区の景観資源の登録制度を作った時のことですが、行政と協議していく中で目標値として何件登録を目指すのかという議論がありました。</p> <p>目標値を設定し、達成していくことによってこの事業の意義みたいなものを打ち出していく必要があるのではないかということで、当時３００件という目標を打ち出しました。</p> <p>この３００件の数字の出し方については、当時の景観計画の目標があって「歩</p>

	<p>いて楽しいまちづくり」がスローガンでしたので「歩いて楽しめる」ということを住宅と市街地で体感しようとする、例えば自宅から歩いて散歩できる距離に景観資源が必ず1件はあるという状況を目指そうとしました。</p> <p>そのために、半径800mの円を練馬区全体に敷き詰めました。</p> <p>その結果、円の数が300になるということから300件という数値が設定されました。</p> <p>そうすると、この300を目指すためにどのように取り組めばいいのかということが次の方策になってくるので、そこから具体的に詰めていくかたちで当時は進めました。</p> <p>つまり、ここでも今ある景観計画のなかで戦略的にどういうことができるかを検討するときに、周知されているってどういう状態なのかをイメージしながら運用していくのが戦略としては望ましいと思います。</p> <p>それが出来ないにしても、先ほど挙げたように募集件数を毎回何件増やしていくという目標数値を設定し、そのための工夫があると非常に分かりやすく、事業が終わった後に、どのくらい展開できたという議論を景観審議会のなかでできるので、景観計画もできて4年が経ちそろそろ節目の年になるので次の展開もどうしていくのか考えた方がいいと思います。</p>
会 長	他に意見ありますでしょうか。
田 邊 委 員	<p>募集要項を拝見しているのですが、応募された方へのメリットが少し分かりにくいと思います。</p> <p>例えば、応募をするとカレンダーに掲載される可能性があるわけですが、この募集要項の中に実際にどういうカレンダーができるのかわかるようにするなどして、応募された方のメリットがもう少し明確になるように表現されている方がいいと思います。</p> <p>また、応募される方は何か賞が欲しくて応募されるわけではないと思いますが、どんな形でもいいので、例えば市長から賞を直接手渡すなど、応募された方の労をねぎらうような仕組み・仕掛けがあってもいいのではないかと思います。</p>
会 長	森田委員の意見は大変重要なことですので、事務局の方で一度揉んでいただいて改めて景観審議会のなかで議論できたらいいなと思っていますが、そのような進め方でよろしいでしょうか。
永 村 委 員	資料1に関して、今どういう段階で、どういう啓発、機運を高める状態にある

	<p>のかというのを次に進む前に皆様に確認いただいた方がいいかと思います。</p> <p>というのも、前回の写真募集は応募者が24名、写真の応募件数が91枚ということで、先ほど中島委員から応募総数を増やすというお話ありましたが、応募者数を増やしたいのか、それとも写真数を増やしたいのか、写真の質を高めたいのかでテーマの設定が変わっていると思います。</p> <p>また、森田委員からお話があったように、新町をどうにかしたいというように佐倉市全体ではなく重点区域のようなところで取り組みをしたいならばそういうところをピックアップした方がいいと思いますし、もう少し裾野を広げたいというのであれば募集の方法等も変わってくるのではないかと思いますので、今の景観形成への啓発の段階がどういう段階にあるのかというのをあらかじめ確認できればいいと思います。</p>
事 務 局	<p>どういう段階かという意見についてですが、景観計画のなかでは具体的な年度計画や施策などを打ち出せていないというのが現状でして、改めて皆様からご意見等いただきまして、また、景観計画策定から4年目というお話もありましたので事務局の方でも今後の景観計画の見直しも含めまして、その辺を内部で揉ませていただいて、また皆様に相談させていただければと思います。</p>
会 長	<p>それでは、資料2、3、4、5についてまとめて議論していただければと思います。</p> <p>特に今日は第二回のオリジナルテーマを決めなければならないのでこの辺りを重点的にご意見いただきたいと思います。</p>
森 田 委 員	<p>募集要項のことで、撮影者、応募者が一緒かどうかの記述が見当たらないのですが、誰かが撮った写真を応募する、撮影者という欄があってそこに書くなど、応募について手段がいくつかあるように思いますが、今の状態では撮影者と応募者が一致している前提になっているので、様々な状況を想定して、もう少しわかりやすく書いた方がいいと思います。</p>
事 務 局	<p>第三者が提出してしまったという状況については注意事項のなかで「法律上の問題が発生したら市は関与しない」といったことは書いているのですが、確かに撮影者と応募者が一致していない可能性はありますので、そのあたりを注意事項に付け加えるようにしたいと思います。</p>
森 田 委 員	<p>そういう抽象的な話ではなくて、撮影者、応募者それぞれ誰かがわかるようにした方がいいということを話したつもりでした。</p>

事務局	<p>つまり、他の人が撮った写真はダメとするのか、他の人が撮った写真はいいけれど条件を付けるのかといった話で、市が法律的に逃げるといった話ではなくて出す側のポジションを決めるために撮影者、応募者が何らかの形でわかるようにした方がいいということを話したつもりでした。</p> <p>応募の条件の中で、「本人が撮影した作品であること」ということを明記するというかたちで対応させていただきます。</p> <p>また、我々もこういう作品を撮った人がいるということを周知するのが趣旨ではないので、ご指摘の通りに例えば、「他の作品展やコンテストに応募されていない写真に限ります。」に続くかたちで「ご本人の撮影した作品に限る。」というようなかたちで記載をしたいと考えております。</p>
会長	<p>先ほど田邊委員から意見いただきました、応募する方のメリットが分かりにくいのではないかとということで、確かにこれが分かると応募者が増えると思いますので何らかの工夫が必要だと思います。</p>
田邊委員	<p>先ほどの件で、写真展を具体例で挙げてしまったのでわかりにくくなってしまいました。</p> <p>メリットが見えることはとても重要だということを先ほどはお伝えしたかったのです。</p> <p>その例として景観賞のようなものでも、港区では皆、景観賞が欲しくてしょうがないという状態です。</p> <p>応募のために膨大な資料を作って来られますし、現場の審査に何うと設計のチーフクラスの方、あるいは著名な建築家の方が設計の趣旨を直接審査員に説明してくれます。</p> <p>なぜそういう状態になっているかというと、事業者だけでなく設計担当者も表彰の対象になっているというようなメリットがあるからです。</p> <p>このメリットがあるから自分のキャリアを高めるという意味で応募される方も真剣な姿勢で評価に臨んでいただけます。</p> <p>写真展に限らず、応募される方のメリットがはっきりしているということは、とても重要なことかと思えます。</p> <p>また、今回景観写真展のテーマについてですが、こちらについては今このような情勢の中で敢えて写真展を行うということ意識するといいのかなと思います。</p> <p>ふるさと広場などでのイベントも軒並み中止となっている中で、やはり人が自由に集まって楽しめるということが重要で、多くの人はそういう機会を思い出し</p>

	<p>たい、あるいは早く取り戻したいと感じているのではないかと思います。</p> <p>写真自体はこれから撮影するものではなくて過去に撮りためたものでもいいのかと思いますので、そういう楽しい風景、人が集まって賑わいを創出しているものというのは一つテーマとして考えられるのではないかと思います。</p> <p>また、過去の写真展の応募事例を見ると写真一つ一つは素晴らしいのですがほとんどの写真に人がいません。</p> <p>これは肖像権の問題など様々な権利の調整が必要なので人がいない写真になってしまっているかと思うのですが、例えば群衆の中に顔がわからない程度の人がいるようなものであれば大きな問題にはならないと思いますので、人が風景と関わって、自然でも人工物でも人の関わりがあってはじめて景観になるという話もあるので、そのあたりを取り上げてはいかがかと思います。</p>
会 長	<p>今のご意見は、例えば「成田街道」などの場所で決めるだけではなくて、場所はどこでもいいけれど賑わっている風景とか人がいる風景とかそういった決め方もあるといった話でよろしいでしょうか。</p>
田 邊 委 員	<p>そうですね。</p> <p>テーマの伝え方も重要だと思うのですが簡単な単語ではなくて今だからこそ感じる人が集まる楽しさだとかそういったイメージが湧くようなテーマの伝え方もあるのではないかと思います。</p>
会 長	<p>特に地元の皆様で何か話題にしたほうがいい場所とか、田邊委員からありました人の集まりなどについて思いつくことがありましたらご提案いただけますでしょうか。</p>
内 田 委 員	<p>テーマについて提案ですが、例えば「水のある風景」などいかがでしょうか。</p> <p>また、やるとすれば単にそのテーマを出すだけではなくて、例えば、佐倉にはこんなところがあるといったような事例をいくつか出した方が応募しやすいのかと思います。そして事例の中に佐倉市として行ってほしい場所、知ってほしい場所を含めておくといいと思います。</p> <p>例えば、志津であれば加賀清水、臼井であれば印旛沼や手繰川、佐倉であれば鹿島川や高崎川など地区的に色々あると思います。</p> <p>和田などにも勝間田の池というのがあってそれは自然の中なのですが、そのような場所などもあってもいいのかと思います。</p>
林 委 員	<p>今回の佐倉の景観の写真募集は交流人口の増加を図るうえでとても有益であ</p>

	<p>ると思います。</p> <p>この写真をとおして佐倉の良さを内外に広めるためにも上手い活用方法をとって佐倉を訪れる人の増加に繋がっていきばいいかなと思います。</p> <p>観光協会の方でもこのような写真等を活用して広く佐倉を PR したいと思います。</p> <p>また、先ほど写真の応募数が少ないという話もありましたので、より多くの応募が集まるように事務局から考えていただく必要があるのかと思います。</p> <p>一回目の状況を見ると佐倉の代表的な景観はおおかた撮られているのかと思いますがやはり、和田・弥富の景観の応募が少ないと感じます。</p> <p>和田・弥富の方に赴きますと里山などの田園風景がかなり残っている地区だと思いますので、そういうところを広く PR 出来ればいいと思います。</p> <p>また、写真応募もしていただければいいなと思いますので、広く多くの方が応募できるような募集の仕方をイメージと工夫をしていただければと思います。</p>
会 長	<p>林委員ありがとうございました。</p> <p>先ほども南や西を対象とした応募が少ないとのお話がありましたが、これは先ほど、中島委員からお話があった練馬区の景観資源を埋めていくといった話にもつながる貴重な意見だと思います。</p> <p>話を整理しますと、「人がいる風景」「水のある風景」また、応募数が少ないところでテーマ設定をするというような意見が出てきていますけれども、他にご意見、アイディア等がありますでしょうか。</p>
事 務 局	<p>令和元年度の審議会の中で、南や西の応募が少なかったため、谷津田や湧水をオリジナルテーマとして設定するといった話がありました。</p>
会 長	<p>その様な意見が前回あったということですね。</p> <p>今の話でありました、谷津田などは「水のある風景」ともつながりがありますし、谷津田、里山は人とのつながりもありますので南部、西部をテーマとして設定するのはいかがでしょうか。</p> <p>そうしましたら、具体的なテーマについてご意見いただければと思います。</p>
林 委 員	<p>オリジナルテーマということで、先ほど「にぎわいのある風景」というお話がありましたが、私は「静寂とにぎわい」というようなテーマで写真を撮っていただくことを一つの案として提案します。</p>

会 長	それは南部に限らず、市内全域ということでしょうか。
内 田 委 員	南部地域あたりのテーマだけでは応募の数が心配なので、谷津田や湧水をまとめた「水」として、弥富の水の撮れるところは弥富川のこういうところがあります、和田地区であれば勝間田の池はここから綺麗に撮れますといったようにその地区の良さそうな場所を事例として挙げることによって写真が集まると思います。
会 長	先ほど、林委員が意見の途中になってしまったのでお願いいたします。
林 委 員	オリジナルテーマについてですが、市民は当然ですが、内外の方にも佐倉を知っていただいて佐倉に行ってみたい、住んでみたいという意識を持っていただけるように佐倉の良さを発信していくという目的から、今はコロナ禍で中止を余儀なくされているけれども佐倉ではこういうイベントもあるということを発信しながら、静の部分、賑やかな部分を一緒に発信することで佐倉を知っていただきたいので、やはり静寂な中とにぎわいのあるまち佐倉というようなテーマを持って写真を募集したらどうかと思います。
会 長	<p>しばらく、にぎわいのあるお祭りなどの風景から遠ざかっているのも、こんなににぎわっていたことを過去の写真でもいいので振り返るようなテーマも面白いかと思いました。</p> <p>さて、「水のある風景」である程度場所を示して募集するという意見「静寂とにぎわい」という意見で大きく二つの意見をいただきました。</p> <p>また、場所は限定しない方がいいのではないかという意見もいただきました。</p> <p>まとめるようなご意見があれば助かるのですがいかがでしょうか。</p>
永 村 委 員	<p>資料2にテーマは④までしか無いのですが、オリジナルテーマを二つ設けてしまうと分散しすぎてしまうのでしょうか。</p> <p>二つともいいなと感じているのと、コロナ禍で過去の写真を見直すのか、それとも今出かけられる範囲で散歩しながら風景を探すのか、どちらも大事だと思います。</p> <p>ですので、残せるのであれば両方がいいのかなと私は思いました。</p>
事 務 局	永村委員の意見で二つのテーマ設定は可能かという意見についてですが、可能

	<p>かと考えております。</p> <p>意見のあった二つテーマ、「にぎわいのある過去の写真」と「水のある風景」を設定することによって林委員の提案する「静寂とにぎわい」といったようなかたちになるのかと思いますので、この二つをテーマとして設定することを改めて事務局から提案いたします。</p>
会 長	<p>今、「過去の写真」という言葉を使っていましたがそれに限定する必要は無いかと思います。</p> <p>ルール上過去の写真を出してもいいとのことですので、にぎわいというようなテーマを設定すれば過去の写真が多くなると思いますが、別に今の写真でもいいと思いますので限定する必要はないと思います。</p>
中 島 委 員	<p>私も二つのテーマ設定をするという意見に賛成です。</p> <p>二つあって広がりがある中で、具体的なイメージをそれぞれ持っていて、募集が増えることを期待したいです。</p>
会 長	<p>そうしましたら、今出た二本立てで文言を揉んでいただいて、合計5つのテーマのうち2つがオリジナルテーマということで進めていただければと思います がよろしいでしょうか。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
永 村 委 員	<p>募集の方法、周知の方法についてですが、令和元年度のものを見ると市内の高校に配布をするとあったのですが、小中学校まで広げると子供たちは難しくても親御さんが興味を持ったりして、親子でスマホを持って散歩することなどにつながると思いますので、今回は配布の範囲をできるだけ広げたほうがいいのかと思いました。</p>
事 務 局	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>教育委員会を通じて小中学校に範囲を広げて配布をしたいと思います。</p>
会 長	<p>そうしましたら、本日出ました意見をふまえて資料を修正していただければと思います。</p> <p>では、次第1の方は、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>では、次第2その他報告事項について事務局からご報告お願いいたします。</p>

事務局	【議題説明】
会長	<p>それでは、その他報告事項についてご意見、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>特にご意見が無いようですので、本日の会議は以上になります。</p> <p>委員の皆様におかれましてはお忙しいところご出席いただき誠にありがとうございました。</p> <p>事務局におかれましては、より良い景観形成に向けた取り組みについて、本日いただきました意見を踏まえまして引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度第1回佐倉市景観審議会を閉会いたします。</p>